



# 令和5年度 矢板市教育委員会の 点検・評価報告書 (令和4年度対象)



第77回国民体育大会（いちご一会とちぎ国体）

矢板市教育委員会

# 目 次

はじめに	1
<b>I 教育委員会の点検・評価の概要</b>	<b>3</b>
1 目的	
2 点検・評価の対象	
3 点検・評価の構成	
4 点検・評価の方法	
5 外部評価委員	
6 議会への報告及び公表	
<b>II 教育委員会事務局の組織・事務分掌</b>	<b>4</b>
<b>III 令和3年度教育委員会定例会・臨時会開催状況</b>	<b>5</b>
<b>IV 施策の点検・評価一覧</b>	<b>9</b>
1 小中学校教育の充実	
1) 幼小の連携	10
2) 特色ある教育の展開	11
3) 教育相談体制の充実	14
4) 教育環境の整備	15
5) 地域と学校の連携・協働の推進	17
2 生涯学習の推進	
1) 生涯学習機会の充実	18
2) 家庭教育・地域の子育て環境の充実	23
3) 芸術・文化の推進	24
3 スポーツを通じた人づくり・まちづくり	
1) 生涯スポーツ推進・環境整備と地域活性化	26
<b>資 料</b>	
矢板市教育行政事務点検評価委員会設置要綱	29

## は じ め に

矢板市教育委員会は、やいた創生未来プラン（令和3年度～令和7年度）に示した「多様な教育環境があるまち」、「スポーツを通じた健康づくりを推進するまち」など、本市のよいところ（特性）を見つめ直し、その特性を生かしたまちづくりを推進するため、矢板市教育行政基本方針に基づき、矢板市生涯学習推進計画5期計画等を策定し、教育行政の推進に取り組んでいます。

学校教育の推進では、「子どものよさを伸ばし、ふるさとを愛する心と自ら学ぶ力を育てる教育の実践」を学校教育の指標に掲げ、市内の小中学校と家庭、学校、地域、関係機関が連携しながら、児童生徒の心身共に健全で生きる力を育む教育施策に取り組んでいます。

また、生涯学習の推進では、矢板市がめざす生涯学習による“まち”づくりの理念である「心に彩り 体に潤い 地域の絆で 未来につなぐ人づくり」のもと、市民一人ひとりが生涯各期で学んだ成果を生かした活動を展開し、人と人、組織と組織などをつなぎ広げることによって、個々の生活の質を高め、個性と活気にあふれた“まち（地域社会）”づくりを実現するために、生涯学習館、矢板、泉、片岡公民館、図書館、矢板武記念館などの各施設を拠点に、家庭教育、学校教育、社会教育の推進に向け各種事業に取り組んでいます。

教育委員会が行う各種事業や施策については、矢板市教育行政基本方針に基づき、毎年、内部の評価・点検に加え、教育委員会や議会、区長会、家庭教育、文化、スポーツ、青少年等の団体の代表者や学識経験者等で組織する社会教育委員会、公民館運営審議会、図書館協議会の審議を経て次年度の施策を検討し、見直しや改善を行い、具体的な事業内容を計画し、教育要覧にまとめています。

一方、各種事業や施策の執行については、事業の進捗状況や事業推進にあたっての問題課題を把握、情報の共有を行い、その都度、成果の評価・点検を行いながら、事業執行や事業改善、修正に努めるとともに、重要事項などについては、毎月開催する教育委員会定例会で審議し、各種施策の展開を図り、教育行政の推進に努めています。

本報告書では、教育委員会が令和4年度に実施した各種事業について、学識経験者の視点から点検と評価をいただいた内容をまとめたものです。

この点検と評価を市民の皆様に公表し、ご意見等をお寄せいただき、次年度の事業改善、計画づくりに生かし、より充実した教育行政の推進に努めてまいります。

令和5年9月

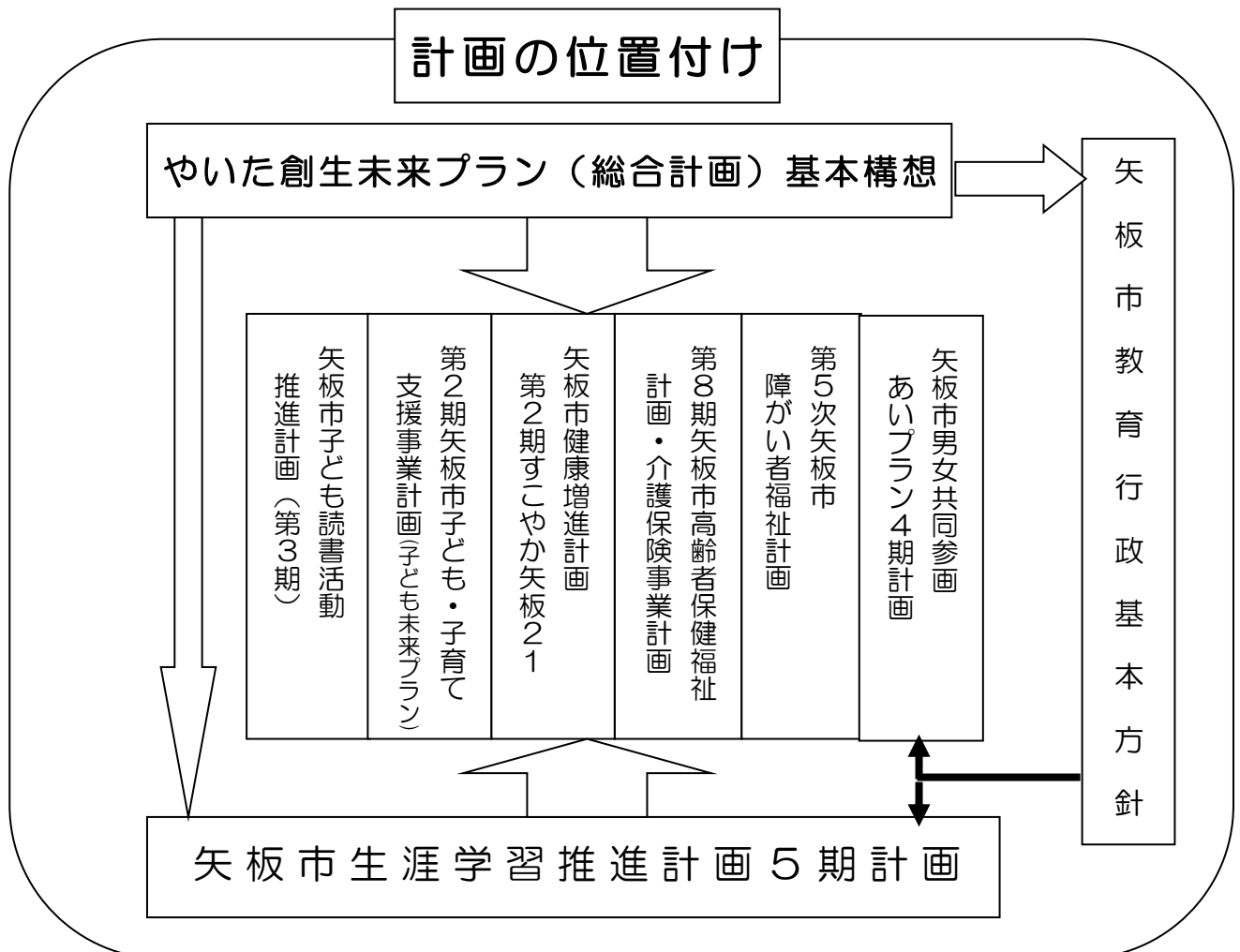
矢板市教育委員会

## 矢板市教育行政基本方針

- 1 人間尊重の立場に立った豊かな人間性と生きる力を育てる学校教育の充実
- 2 心のふれあいと人と人、組織と組織がつながり合う社会教育の振興
- 3 高原山の自然を背景にしたうるおいのある芸術文化の振興と文化財保護活用の推進
- 4 健康で明るい一人一スポーツの推進
- 5 家庭教育力の向上

矢板市教育委員会は、あらゆる機会を通じて学校教育・社会教育・家庭教育相互の連携と調和を図り、生涯にわたって能力や個性を伸ばし、自己教育力向上のために協力し、継続的な計画を策定し、地域住民全体の合意を得て、地域との連携を図りながら、その目的を達成するために、上記の項目を掲げ、本市教育行政の推進を図るものである。

### 計画の位置付け



## I 教育委員会の点検・評価の概要

### 1 目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、矢板市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果を公表し、教育行政の適切で効果的な執行等を推進し、合わせて市民に対して矢板市の教育行政の取組について説明責任を図ることを目的としています。

#### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律抜粋（平成27年4月1日施行）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 2 点検・評価の対象

（1）令和4年度教育委員会活動状況

（2）矢板市教育行政基本方針に基づき、教育委員会が実施した学校教育の振興、生涯学習・社会教育の振興、芸術文化の振興、文化財の保護活用、スポーツ振興に関する令和4年度の各種施策のうち具体的な事務事業の主なもの。

### 3 点検・評価の構成

矢板市教育行政基本方針に基づく施策体系の視点ごとに次のとおり構成しています。

- （1）事業の目的／施策の主なものについて目的を掲載
- （2）施策の対象者／施策の対象者を掲載
- （3）今年度の目標／施策の主なものについて目標を掲載
- （4）施策内容／施策の主なものについて実施状況・実施値等を記載
- （5）課題／施策内容に基づき課題を掲載

### 4 点検・評価の方法

- （1）自己評価／各主管課による自己評価を実施
- （2）委員評価／評価委員から評価と意見の聴取

### 5 外部評価委員（学識経験者）

「矢板市教育行政点検評価委員会設置要綱」に基づき、学校教育、社会教育等教育行政に識見を有する評価委員を教育委員会が委嘱します。

＜評価委員＞

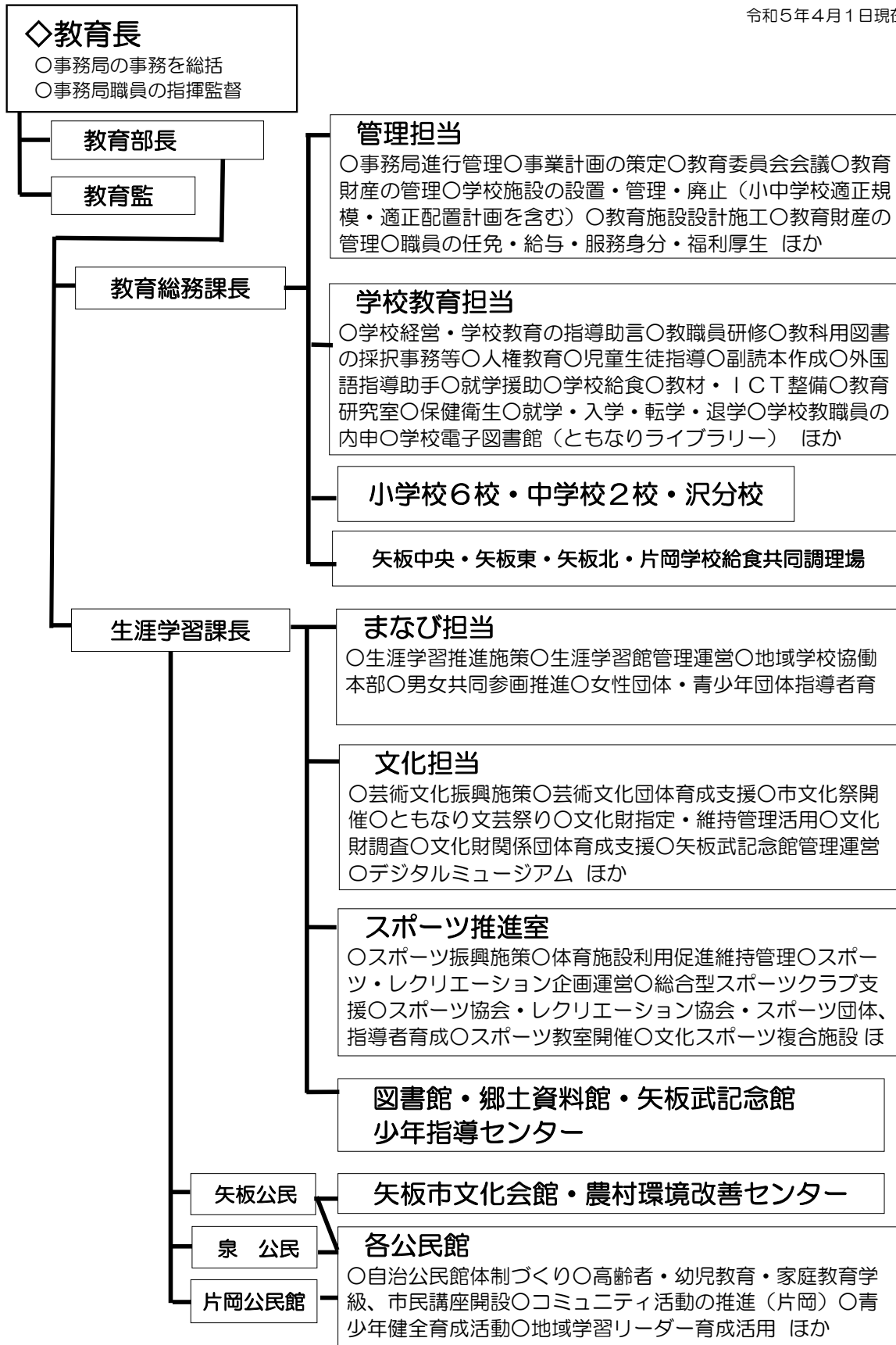
No.	評価委員	職名
1	石川 幸夫	学識経験者（元矢板小学校長）
2	鈴木 康子	学識経験者（元市役所職員）
3	岡本 美智子	学識経験者（栃木県青少年健全育成指導員）

### 6 議会への報告及び公表

矢板市議会に報告書を提出するとともに、矢板市公式ホームページに掲載し公表します。

## II 教育委員会事務局の組織・事務分掌

令和5年4月1日現在



### Ⅲ 令和4年度教育委員会定例会・臨時会開催状況

日時・会場	内 容	備 考
定例会 4月18日(月) 午後3時 生涯学習館 2階研修室1	報告事項 (1) 第374回矢板市議会定例会について (2) 事業の後援・共催について (3) 令和5年以降の成人式について (4) 頑張る学校・地域！応援プロジェクト事業について (5) 矢板市男女共同参画計画あいプランの5期計画について (6) いちご一会とちぎ国体について 議 事 (1) 学区外学校就学許可願について (2) 区域外就学承諾願について (3) 矢板の教育基本理念、教育行政基本方針、人権教育基本方針について	委 員 4 部長兼課長 1 課 長 1 局 長 1 課長補佐 1 指導主事 2 社教主事 1
定例会 5月23日(月) 午後3時 生涯学習館 2階研修室1	報告事項 (1) 長欠児童生徒の推移について (2) 令和4年度中学校等卒業者の進路状況調査の結果について (3) 小学生英語イベント・中学生英語講座について (4) 事業の後援について (5) その他 議 事 (1) 学区外学校就学許可願について (2) 区域外就学承諾願について (3) 学校評議員の任期について	委 員 5 部長兼課長 1 課 長 1 局 長 1 課長補佐 1 指導主事 1 社教主事 1
定例会 6月20日(月) 午後3時30分 生涯学習館 2階研修室1	報告事項 (1) 第377回矢板市議会定例会議について (2) 令和3年度要保護準要保護児童生徒援助費実績について (3) 令和4年度矢板市特色ある学校づくり推進事業について (4) 学校における働き方改革（ネクスト・ステップ）について (5) 社会教育委員等の委嘱について (6) 図書館協議会委員の委嘱について (7) とちぎフットボールセンターの利用状況について 議 事 (1) 学区外学校就学許可願について (2) 区域外就学承諾願について	委 員 4 部長兼課長 1 局 長 1 課長補佐 1

### Ⅲ 令和4年度教育委員会定例会・臨時会開催状況

日時・会場	内 容	備 考
定例会 7月11日(月) 午後3時 生涯学習館 2階研修室1	報告事項 (1) 地域学校協働本部員会議について (2) 矢板武没後100年記念イベントについて (3) 文化・スポーツ複合施設整備の進捗状況について 議 事 (1) 川崎小学校及び泉中学校の統合に係る条例等の改正について (2) 学校給食共同調理場の配送校の変更について (3) 令和5年度使用小中学校特別支援学級用教科用図書 の採択について (4) 学区外学校就学許可願について (5) 区域外就学承諾願について	委 員 5 部長兼課長 1 課 長 1 局 長 1 課長補佐 1 指導主事 3 社教主事 1
定例会 8月22日(月) 午後3時30分 生涯学習館 2階研修室1	報告事項 (1) 令和4年度「教育委員会の点検・評価」について (2) 令和4年度全国学力・学習状況調査及びとちぎっ子 学習状況調査の結果について (3) 学校給食費の改定について (4) 事業の後援について (5) 市民体育祭のあり方について 議 事 (1) 矢板市体育施設設置及び管理条例の一部改正について (2) 学区外学校就学許可願について (3) 区域外就学承諾願について	委 員 4 部長兼課長 1 課 長 1 局 長 1 課長補佐 1 指導主事 1 社教主事 1
定例会 9月12日(月) 午後3時 生涯学習館 2階研修室1	報告事項 (1) 家庭学習ノートコンテストについて (2) 矢板市立図書館の指定管理者について (3) 事業の後援について 議 事 (1) 学区外学校就学許可願について (2) 区域外就学承諾願について (3) その他 ・学力向上について ・児童生徒の登下校の送迎について	委 員 3 部長兼課長 1 課 長 1 局 長 1 課長補佐 1 指導主事 3 社教主事 1



### Ⅲ 令和4年度教育委員会定例会・臨時会開催状況

日時・会場	内 容	備 考
定例会 10月17日(月) 午後3時30分 生涯学習館 2階研修室1	報告事項 (1) 第380回矢板市議会定例会について (2) 令和5年二十歳のつどい(11/12・1/8)について (3) 矢板市男女共同参画計画あいプラン5期計画(素案)について (4) その他 ・国体の実績報告について 議 事 (1) 学区外学校就学許可願について (2) 区域外就学承諾願について (3) 小規模特認校入学(転入学)申請について	委 員 5 部長兼課長 1 課 長 1 局 長 1 課長補佐 1 指導主事 3 社教主事 1
定例会 11月14日(月) 午後3時 生涯学習館 2階研修室1	報告事項 (1) 令和5年度予算要求について (2) 第24回ともなり文芸祭り応募状況について (3) 山田ミヤコタナゴ生息池生息状況調査報告について (4) 事業の後援について 議 事 (1) 矢板市立図書館設置条例の一部改正について (2) 学区外学校就学許可願について (3) 区域外就学承諾願について (4) 矢板中学校生徒の通学方法について (5) 全国学力・学習状況調査の結果公表について	委 員 4 部長兼課長 1 課 長 1 局 長 1 課長補佐 1 指導主事 3 社教主事 1
定例会 12月12日(月) 午後3時 生涯学習館 2階研修室1	報告事項 (1) 第383回矢板市議会定例会議について (2) 矢板市立小中学校小規模特認校設置要綱の一部改正について (3) 家庭学習ノートコンテスト結果報告について 議 事 (1) 学区外学校就学許可願について (2) 区域外就学承諾願について (3) 矢板市版コミュニティ・スクール(素案)について	委 員 5 部長兼課長 1 課 長 1 局 長 1 課長補佐 1 指導主事 3 社教主事 1

### Ⅲ 令和4年度教育委員会定例会・臨時会開催状況

日時・会場	内 容	備 考
定例会 1月16日(月) 午後3時 生涯学習館 2階研修室1	報告事項 (1) 定例監査について (2) 事業の後援について 議 事 (1) 学区外学校就学許可願について (2) 区域外就学承諾願について	委 員 3 部長兼課長 1 課 長 1 局 長 1 課長補佐 1 指導主事 3 社教主事 1
定例会 2月6日(月) 午後3時 生涯学習館 2階研修室1	報告事項 (1) (仮称) 放課後学習塾について (2) 矢板市版コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動について (3) 矢板っ子輝き大賞について (4) 矢板市男女共同参画計画あいプラン5期計画のパブリックコメントの結果について 議 事 (1) 学区外学校就学許可願について (2) 区域外就学承諾願について (3) 矢板市教育委員会傍聴人規則の改正について (4) 矢板市教育委員会教育長の辞職について同意を求めることについて	委 員 5 部長兼課長 1 課 長 1 局 長 1 課長補佐 1 指導主事 3 社教主事 1
臨時会 3月6日(月) 午後4時30分 生涯学習館 2階教育長室	議 事 (1) 令和5年度教職員人事異動(案)について (2) 令和5年度矢板市教育委員会事務局職員人事異動(案)について	委 員 4 部長兼課長 1 課長補佐 1
定例会 3月13日(月) 午後3時 生涯学習館 2階研修室2	報告事項 (1) 矢板市内小学生進学先について (2) 学校医等の報告について (3) 矢板市地域部活動実績報告について (4) G7 男女共同参画・女性活躍担当大臣会合開催記念 矢板市女性議会の開催について (5) 矢板武記念館シダレザクラライトアップと矢板武没後100年イベントの実施について (6) その他 ・ 泉小学校コミュニティ・スクールの評価結果について 議 事 (1) 準教科書の使用について (2) 学区外学校就学許可願について (3) 区域外就学承諾願について (4) 矢板市教育委員会事務局組織規則等の改正について (5) 矢板市教育委員会申請書等の押印の省略に関する規則の改正について	委 員 5 部長兼課長 1 課 長 1 局 長 1 課長補佐 1 指導主事 3 社教主事 1

## Ⅳ 施策の点検・評価一覧

NO	基本目標	基本施策		具体的施策	評価	
					自己評価	委員評価
1	1 小中学校教育の充実	1 幼小の連携		① 幼小連携の推進	A	A
2				① ICT教育の推進	A	A
3		2 特色ある教育の展開		② 学校における読書活動の推進	A	A
4				③ 学習講座等の支援	A	A
5				3 教育相談体制の充実	① いじめ、不登校等教育相談	B
6		4 教育環境の整備		① 学校施設大規模改修事業	A	A
7				② 適正規模・適正配置計画	A	A
8		2 生涯学習の推進	5 地域と学校の連携・協働の推進		① 地域学校協働活動の推進	A
9	1 生涯学習機会の充実					① 生涯学習情報の収集・発信の強化
10			② 多様な学習機会の提供	B		B
11			③ 男女共同参画の推進	A		A
12			④ 青少年の健全育成・参画・活躍の機会充実	A		A
13			⑤ 社会教育施設の運営・整備	B		B
14	2 家庭教育・地域の子育て環境の充実		① 子育て環境づくりの推進	A	A	
15	3 芸術・文化の推進			① 芸術文化の普及と向上	A	A
16		② 文化財の保護と活用		A	A	
17	3 スポーツを通じた人づくり・まちづくり	1 生涯スポーツ推進・環境整備と地域活性化		① 生涯スポーツの推進、スポーツ等活動振興	A	A
18				② スポーツ施設の機能拡充	A	A
19				② スポーツツーリズム推進事業との連携	B	B

※ 評価ランク A/十分な成果である、B/概ね良好、C/改善等を検討、D/改善が必要

# Ⅳ 施 策 評 価 シ ー ト

施策番号	1-1-①	施策名	幼小連携の推進	主管課	教育総務課
事業費 (千円) (決算額)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年度比	
	85	100	68	△ 32	
制度区分	<input type="checkbox"/> ：補助(国・県)		<input checked="" type="checkbox"/> ：市単独	<input type="checkbox"/> ：その他	
事業の目的	小1プロブレム解消のため、就学前の幼稚園及び保育園(保育所)での教育から小学校教育へなめらかで確実な接続を行うとともに、児童一人一人へのきめ細かな指導が図れるよう幼稚園、保育園(保育所)と小学校間での連携を強化する。 また、特別な支援が必要な児童については、小学校入学後も継続して支援する。				
施策の対象者	小学生、未就学児、幼稚園教諭、保育園保育士、小学校教諭等				
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>園児一人一人の抱える課題を解決するため、各園を訪問して適切な教育支援を行い、幼小情報交換会で小学校へ情報提供する。その際、共通の支援シートで、幼稚園、保育園(保育所)が同じ観点で小学校に伝達できるようにする。</li> <li>児童や保護者の困り感ばかりでなく、担任の困り感にも寄り添い、指導方法についても共に考える。</li> <li>幼小連携推進委員会を設置し、幼児期から児童期への円滑な接続を図る。</li> </ul>				
〔施策内容 実施状況 実施値等〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼小連携巡回相談(13回)及び教育支援訪問(12回)において、全ての幼稚園や保育園(所)、また、訪問希望の小学校を訪問することで、支援が必要な児童の保護者や指導者への支援を円滑に行うことができた。</li> <li>幼小連携推進委員会において、市内全ての幼稚園、保育園(保育所)、小学校の関係者が一堂に会し、栃木県総合教育センターより講師を招いて合同研修(2回)や情報交換(1回)を実施し、幼児教育から小学校教育へ円滑で確実な接続を行うことができた。</li> <li>幼稚園での実際の様子を観察したり、教諭や保育士が互いに交流・情報交換したりすることで、子どもたちの様子を同じ視点で把握することができ、更に入学後を見通した指導方針を立てることができた。</li> </ul>				
課題及びその対応策	特別な支援が必要な児童については、保護者の理解を得ることが難しい場合がある。適切な学びの場について、関係機関と連携しながら、さらに丁寧に保護者と相談していく。				

## ●自己評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ン ト	
手段の妥当性	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	幼小連携推進委員会の設置や幼小連携巡回相談の実施は、幼小の連携において有効な手法であると考えられる。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	幼小連携推進委員会を設置したことで、効率的に情報交換を行うことができた。また、推進委員会において研修を実施し、幼児教育と小学校教育の違いを意識して接続することの重要性を考えることができた。	
費用対効果	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	巡回相談は、保育士や教員に対して、具体的な指導方針やうまくいっている対応について共通理解を図ることができている。また、幼小連携推進委員会も県総合教育センターから講師を招き充実した研修ができている。これらについては、費用負担なく実施できている。	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	幼小連携巡回相談や幼小連携推進委員会において、個に応じた指導方法や家庭環境など、小学校で必要な情報が得られた。その情報がクラス分けに生かされ、その後の小学校生活の円滑なスタートに繋がった。	
評価結果	34	A(31点以上) B(30~22点) C(21~13点) D(12点以下)	ランク	A
今後の方向性	<input type="checkbox"/> ：拡大 <input checked="" type="checkbox"/> ：現状維持 <input type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止			

## ●委員評価

評価項目	点数	基 準		
手段の適正化	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
費用対効果	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
評価結果	34	A(31点以上) B(30~22点) C(21~13点) D(12点以下)	ランク	A
委員の意見	適切な学びの場の選定にあたっては、子ども本人が不利益にならないよう、保護者の理解を得る努力を引き続きお願いしたい。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。

# Ⅳ 施 策 評 価 シ ー ト

施策番号	1-2-①	施策名	ICT教育の推進	主管課	教育総務課
事業費 (千円) (決算額)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年度比	
	2,224	10,575	8,978	△ 1,597	
制度区分	■：補助(国・県)		■：市単独	□：その他	
事業の目的	ICT機器及び視覚的なソフトを整備し、有効活用することにより、主体的・対話的で深い学びによる授業改善を目指す。				
施策の対象者	市立小中学生、教諭等				
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・矢板市ICT活用調査研究会を発足し、各学校におけるICT教育の推進を図る。</li> <li>・指導者用デジタル教科書を全小中学校に5教科分(国語、算数・数学、社会、理科、英語)整備する。</li> <li>・タブレット端末で活用できるAI型デジタルドリルを配備する。</li> <li>・大型電子黒板を配備し、大型電子黒板の活用について検証する。</li> </ul>				
施策内容 (実施状況) 実施値等	<p>○全児童生徒、全教員を対象にした「タブレット端末活用状況調査」を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「タブレットを使った授業はわかりやすい」は、約90%がわかりやすいと回答(児童生徒)</li> <li>・「授業でもっとタブレットを使いたい」は、約80%が使いたいと回答(児童生徒)</li> <li>・「タブレットの活用が学力向上につながっている」は、約87%につながっていると回答(教員)</li> </ul> <p>○矢板市GIGAスクールリーダー研修会を月に1回開催した。</p> <p>泉小と矢板中においては、タブレット端末と大型電子黒板を活用した公開授業を行った。</p> <p>○指導者用デジタル教科書を全小中学校に5教科分(国語、算数・数学、社会、理科、英語)整備した。</p> <p>○文科省の学習者用デジタル教科書実証事業に全小中学校が参加した。</p> <p>○臨時交付金を活用し、AI型デジタルドリル5教科分を全小中学生が使用した。</p>				
課題及び その対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業におけるICTの効果的な活用、情報活用能力と情報モラルの育成が県全体でも課題となっている。そのため、矢板市においては、令和4年度に各学校で情報活用スキルに長けている教員を校務分掌で「GIGAスクールリーダー」に任命し、課題解決のため校内でリーダーシップを發揮してもらおう。</li> </ul>				

## ●自己評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ン ト	
手段の妥当性	10	■高い(10) □やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)	有効に活用している。ICTの活用を機に教員が授業力向上に取り組むようになってきた。今後も引き続き実態調査を実施し整備予定について検討していきたい。	
手法の効率性	10	■高い(10) □やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)	デジタル教科書やドリルの有効活用により、効率的な授業展開ができるようになった。また、タブレット導入により、配布物の印刷省略化など、教員の負担軽減にも繋がった。	
費用対効果	10	■高い(10) □やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)	約90%の児童生徒が「タブレットを使った授業はわかりやすい」と調査で回答した。	
目標達成度	10	■高い(10) □やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)	約87%の教員が「タブレットが学力向上につながっている」と調査で回答した。	
評価結果	40	A(31点以上) B(30~22点) C(21~13点) D(12点以下)	ランク	A
今後の方向性	■：拡大 □：現状維持 □：一部修正 □：縮小 □：廃止			

## ●委員評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ン ト	
手段の適正化	10	■高い(10) □やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)		
手法の効率性	10	■高い(10) □やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)		
費用対効果	10	■高い(10) □やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)		
目標達成度	7	□高い(10) ■やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)		
評価結果	37	A(31点以上) B(30~22点) C(21~13点) D(12点以下)	ランク	A
委員の意見	<p>急激なデジタル化が進む中、機器やソフトの整備が順調に進んでいる。また、ICT活用調査研究会の立ち上げやスクールリーダー研究会を開催することにより有効活用の成果をあげている。今後はさらに情報活用能力を身につけさせることや、情報モラルの育成に取り組む必要がある。</p>			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。

# Ⅳ 施策評価シート

施策番号	1-2-②	施策名	学校における読書活動の推進	主管課	教育総務課
事業費 (千円) (決算額)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年度比	
	28,744	9,755	10,406	651	
制度区分	■：補助(国・県)		■：市単独	■：その他(寄附)	
事業の目的	学校が学校図書館の機能を十分に活用できるよう支援し、学校図書館の充実に向けた施策を推進することが重要であるため、児童生徒の興味・関心に応じて、自発的・主体的に読書や学習を行う場として、また読書を介して創造的な活動を行う場としての環境整備を行うことを目的とする。				
施策の対象者	市内小中学生				
今年度の目標	学校図書館の充実に向けて、環境整備を進めるとともに、子どもたちの読書活動の推進を図る。 ・学校図書館の円滑な運営を図るため、会計年度任用職員(図書事務員)を全校に配置(小学校7人 中学校3人) ・蔵書の整備(各学校における図書の購入) ・GIGAスクール構想による1人1台タブレット端末を活用した学校電子図書館(ともなりライブラリー)の活用や市立図書館とのタイアップによる読書量の増加を目指す。				
施策内容 (実施状況) (実施値等)	・読書量調査(前年比:小学校2%増、中学校9%増)      ・読書推進活動(読み聞かせ 月1回程度) ・学校電子図書館「ともなりライブラリー」の活用促進      ・電子書籍購入実績 495冊(合計 3015冊:4年度末) ・市立図書館(主に電子図書館)とのタイアップ      ・図書事務スキルアップ研修(年3回) ・学校と市立図書館連携のための協議会(年2回)      ・図書室の環境整理(蔵書管理・貸出) ・図書購入実績 小学校757冊 中学校 544冊				
課題及び その対応策	・授業等において、学校電子図書館「ともなりライブラリー」を積極的に活用をするためには、学習指導要領に沿った電子資料の整備が必要となる。現在は、1コンテンツを同時に複数の児童生徒で見ることができないため、使用頻度の高い資料については、コンテンツを複数整備する必要がある。				

## ●自己評価

評価項目	点数	基準	コメント	
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	読み聞かせや家読(うちどく)に加え、学校電子図書館の活用促進・図書委員と図書委員の企画による学校図書館におけるイベント開催により、子どもたちの読書への関心が高まった。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	基幹校では電子管理システムを導入する等効率的な図書館運営に努めている。GIGAスクール構想により、家庭においても学校電子図書館が利用可能となったため、読書環境の向上に繋がっている。	
費用対効果	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	電子書籍や図書室の書籍の整備により、児童生徒一人あたりの平均読書数は増加している。	
目標達成度	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	学校電子図書館(ともなりライブラリー)の活用促進等により、読書量が向上した。	
評価結果	34	A(31点以上)    B(30~22点) C(21~13点)    D(12点以下)	ランク	A
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> ：拡大 <input type="checkbox"/> ：現状維持 <input type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止			

## ●委員評価

評価項目	点数	基準		
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
費用対効果	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
評価結果	31	A(31点以上) B(30~22点) C(21~13点) D(12点以下)	ランク	A
委員の意見	全国に先駆け「ともなりライブラリー」が構築されたことにより、子どもたちの読書への関心が高まっている。今後は市立図書館とのタイアップや授業での有効活用を含め、学校と関係部署との連携を強化しよりよい読書環境整備にあたってほしい。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。

# Ⅳ 施 策 評 価 シ ー ト

施策番号	1-2-③	施策名	学習講座等の支援	主管課	教育総務課
事業費 (千円) (決算額)	令和2年度	令和3年度		令和4年度	前年度比
	517	1,065		1,880	815
制度区分	<input type="checkbox"/> ：補助(国・県) <input checked="" type="checkbox"/> ：市単独 <input type="checkbox"/> ：その他				
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢検・数検・英検の合格を目指して個に応じた学習を行うことにより学力の向上を図る。</li> <li>・自主学習方式で学習を支援し、学び楽しさを感じさせる。</li> </ul>				
施策の対象者	市内小中学生				
今年度の目標	【漢検・数検・自主学習講座】 ・漢検・数検の合格を目指して自主的に学習することを通して、学力の向上を図る。 【ともなり学習教室】 ・塾に通えない、学習の仕方が分からない等の児童生徒に対して、学習の機会を与え、学力向上を図る。 【英語学習講座及びオンライン海外交流】 ・これまでの英検講座に、英会話、英語学習の2コースを加え、ニーズに合わせた英語学習を行うことで英語力の向上を図る。受講した生徒の成果を試す場として、オンラインで海外交流で、国際的な見方・考え方を育む。 【小学生イングリッシュイベント】 ・「遊びから学ぶ」「異学年とつながる」を柱とし、オールイングリッシュでコミュニケーションを図りながら異文化理解を図る。				
施策内容 (実施状況 実施値等)	【漢検・数検・自主学習講座】 ・6月～2月の土曜日 9:30～11:30 15回実施 参加者32名 ・1年間努力した結果、検定に合格したという達成感を味わわせたい。検定の合格率を高めるため、検定前には過去問に取り組む。(合格率 漢検…約92% 数検…91%) 【ともなり学習教室】 ・5月～2月の日曜日 14:00～16:00 20回開催 参加者16名 【英語学習講座及びオンライン海外交流】 ・(講座)8月～12月 土曜日 14:00～16:00 10回開催 応募者は47名 ・(交流)1/7、1/14、1/21 土曜日 14:00～16:00 3回開催 【小学生イングリッシュイベント】 ・11/5、11/26、12/10 土曜日 9:30～11:30 3回開催 応募者は41名				
課題及び その対応策	【漢検・数検・自主学習講座】【ともなり学習教室】 ・講師の確保が難しいので、大学に募集の周知依頼を行わなければならない。 【英語学習講座及びオンライン海外交流】 ・保護者の送迎の負担、部活動との両立が難しいため、実施方法を検討する必要がある。				

## ●自己評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ン ト
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	年間の実施回数、1回当たりの時間は、発達段階に適している。
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	児童生徒が目的や目標をもっているため、意欲的に学習に取り組んでいるが、受講者が定員に達していないため、広報、募集方法の検討が必要。
費用対効果	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	漢検・数検自主学習講座は昨年度よりもさらに合格率が高くなった。オンライン海外交流では、生徒の英語でのプレゼンテーション力を高めることができた。
目標達成度	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	自主学習講座形式であるため、児童生徒のニーズに合った学習方法を提供することができた。
評価結果	34	A (31点以上)    B (30～22点) C (21～13点)    D (12点以下)	ランク                      A
今後の方向性	<input type="checkbox"/> ：拡大 <input type="checkbox"/> ：現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止		

## ●委員評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ン ト
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	
費用対効果	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	
目標達成度	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	
評価結果	34	A (31点以上) B (30～22点) C (21～13点) D (12点以下)	ランク                      A
委員の意見	新しい講座の開設や英検・数検の合格率の向上に意欲的な取り組みがうかがえた。講師の確保については、周知の方法や登録制度を設けるなど工夫が必要である。		

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。

# Ⅳ 施策評価シート

施策番号	1-3-①	施策名	いじめ、不登校等 教育相談	主管課	教育総務課
事業費 (千円) (決算額)	令和2年度	令和3年度		令和4年度	前年度比
	5,896	5,750		5,075	△ 675
制度区分	<input type="checkbox"/> : 補助(国・県) <input checked="" type="checkbox"/> : 市単独 <input type="checkbox"/> : その他				
事業の目的	いじめに起因する重大事件や不登校の増加は全国の小中学校で大きな問題となっており、本市においても例外ではない。いじめ・不登校の対策として、不登校傾向の場合には適切な対処とともに教育相談を充実させ未然防止を図り、不登校の場合には教育相談や適応指導教室通級から原籍校への復帰を図る。				
施策の対象者	市内小中学生				
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>矢板市適応指導教室「チャレンジハウス」での教育相談を充実させる。</li> <li>教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技能を有するスクールソーシャルワーカー(SSW)を教育総務課に配置することで、市内小中学校と連携し、いじめ と不登校の早期発見・未然防止に努める。</li> </ul>				
施策内容 (実施状況 実施値等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○矢板市適応指導教室「チャレンジハウス」通室生(年度末) 令和元年度13名、令和2年度19名、令和3年度18名、令和4年度23名</li> <li>○矢板市SSWを1名配置 令和4年度教育相談件数220件(来庁相談19件、電話相談100件、家庭訪問101件)</li> <li>○栃木県SSW(1名)を全中学校に配置し、市SSWと連携を図りながら諸問題の解決を図った。</li> </ul>				
課題及び その対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校の原因が家庭問題に起因するケースが多いため、矢板市子ども課や児童相談所と、さらに連携を図っていく必要がある。解決を焦らず、じっくりと時間をかけて解決を図ろうとする姿勢が必要である。</li> <li>・令和5年度は、タブレット端末を活用して、アンケート実施後すぐに結果が把握できる「楽しい学校生活を送るためのアンケート調査」を市立全小中学校で実施し、不登校傾向がある児童生徒を早期発見し、迅速な支援に努める。</li> </ul>				

## ●自己評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ント	
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	不登校児童生徒にとって、チャレンジハウスは学校とは違う環境のため、通室し学習する機会を確保でき、学校復帰へ向けて有効である。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	児童生徒一人ひとりの実態に合わせて活動内容を決めることができるため、その児童生徒にとって必要なことを学びやすい。	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	不登校児童生徒の学習機会を確保し、支援の中核的な役割を果たしているチャレンジハウスは、広域での運営により費用を分担しているため、各市町の費用抑制を図れている。	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	不登校や引きこもりに陥っていた児童生徒が、通室することで成長できている。中学校3年生は全員進学することができた。	
評価結果	28	A(31点以上)    B(30~22点) C(21~13点)    D(12点以下)	ランク	B
今後の方向性	<input type="checkbox"/> : 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> : 現状維持 <input type="checkbox"/> : 一部修正 <input type="checkbox"/> : 縮小 <input type="checkbox"/> : 廃止			

## ●委員評価

評価項目	点数	基 準		
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
評価結果	28	A(31点以上) B(30~22点) C(21~13点) D(12点以下)	ランク	B
委員の意見	本市においてもいじめや不登校問題は深刻である。未然防止や早期発見さらには不登校生徒も学習機会の提供のためのタブレット活用は有効な方法である。また、問題解決には個人に大きな負担がかからないように組織単位での対応が必要である。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。



# Ⅳ 施策評価シート

施策番号	1-4-①	施策名	学校施設大規模改修事業	主管課	教育総務課
事業費 (千円) (決算額)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年度比	
	50,842	142,901	51,122	△ 91,779	
制度区分	■：補助(国・県)		■：市単独	□：その他	
事業の目的	市内小中学校施設については、老朽化しているものが多く、児童生徒の安全を確保するためには、大規模な施設改修を行う必要がある。令和2年度に策定した学校施設長寿命化計画に基づき、計画的に現在の教育内容に適應した施設として整備を行うことを目的とする。 R4～9年度 東小学校大規模改修事業(R4予備設計) R4年度 矢板小学校体育館トイレ改修				
施策の対象者	市立小中学校				
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>矢板小体育館トイレ改修</li> <li>湿式・和式トイレから乾式・洋式トイレへ改修、多目的トイレの設置を行う。(コロナ禍における避難所としての使用を想定)</li> <li>東小学校大規模改修：予備設計及び躯体調査</li> </ul>				
施策内容 (実施状況 実施値等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育館トイレ改修設計・工事(R5.3竣工)</li> <li>矢板小体育館トイレの乾式・様式化及び多目的トイレの設置(工事完了後の体育館トイレ洋式化率28.6%→36.7%)</li> <li>東小学校大規模改修予備設計</li> <li>校舎及び体育館のアスベスト調査、躯体の劣化度調査</li> </ul>				
課題及び その対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化した施設が多いため、優先順位をつけ計画的に改修を行うことが必要であるが、そのための財源確保が課題。</li> <li>トイレの乾式・洋式化について、体育館で36.7%と低い状況である。今後、校舎トイレも含め洋式化及び多目的トイレの設置を検討していきたい。</li> </ul>				

## ●自己評価

評価項目	点数	基準	コメント	
手段の妥当性	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	学校体育館については、コロナ禍における避難所として活用するために、感染防止の観点から改修は必要であるため、その妥当性は高い。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	学校体育館は、コロナ禍における避難所として活用することでコロナ交付金の採択が得られ、早期の整備が可能となった。	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	学校体育館は、コロナ交付金の活用によりトイレ様式化率の向上及び災害時の避難所としての機能向上が図られた。	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	計画どおり、乾式・洋式化及び多目的トイレの設置が完了した。学校活動における使用のほか、災害時の避難所としての活用体制も整った。	
評価結果	31	A(31点以上) B(30～22点) C(21～13点) D(12点以下)	ランク	A
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> ：拡大 <input type="checkbox"/> ：現状維持 <input type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止			

## ●委員評価

評価項目	点数	基準		
手段の適正化	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
評価結果	31	A(31点以上) B(30～22点) C(21～13点) D(12点以下)	ランク	A
委員の意見	「学校施設長寿命化計画」に基づき順調に整備が進んでいる。近年多発している風水害等による計画にない補修工事が必要になるケースが増加しているため、今後児童生徒の安全確保のため、予防保全という観点からの整備が必要になってくる。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。

# Ⅳ 施策評価シート

施策番号	1-4-②	施策名	適正規模・ 適正配置計画	主管課	教育総務課
事業費 (千円) (決算額)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年度比	
	—	7,913	8,612	699	
制度区分	<input type="checkbox"/> ：補助(国・県)		<input checked="" type="checkbox"/> ：市単独	<input type="checkbox"/> ：その他	
事業の目的	令和2年9月に公表した「矢板市立小中学校適正規模・適正配置計画」に基づき、各学校の統合期限までに必要な業務を行っていく。 【第1期：R3～7】R4 豊田小は東小へ統合 ※泉小はコミュニティ・スクール化により存続 R5 川崎小は矢板小(JR西)と東小(JR東)へ統合、泉中は矢板中へ統合 【第2期：R8～13】R10 乙畑小と安沢小(安沢地区)は片岡小へ統合、安沢小(中地区)は東小へ統合 小中一貫教育の在り方検討				
施策の対象者	市立小中学校				
今年度の目標	・川崎小学校の閉校 ・泉小コミュニティ・スクール支援		・泉中学校の閉校 ・片岡地区説明会の開催		
施策内容 (実施状況 実施値等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>川崎小学校の閉校 交流事業の実施、閉校行事の開催支援(市補助金200万円)、スクールバスのルート設定及び配車手配 条例等改正、閉校式典、統合準備金交付(2万円/人)、備品関係整理、矢板小・東小への引越し等</li> <li>泉中学校の閉校 閉校行事の開催支援(市補助金100万円)、条例等改正、閉校式典、統合準備金交付(2万円/人)、 備品関係整理、矢板中への引越し等</li> <li>泉小コミュニティ・スクール支援(コーディネーター配置、学校運営協議会開催、学校活動支援等)</li> <li>片岡地区説明会の開催(保護者42/52)</li> </ul>				
課題及び その対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1期計画に位置付けられた取組は、概ね予定通り進捗している。</li> <li>第2期計画の片岡地区小中一貫教育については、地域の実情に即しながら、施設の在り方も含めて検討する必要がある。</li> </ul>				

### ●自己評価

評価項目	点数	基準		コメント	
手段の妥当性	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10)	<input type="checkbox"/> やや高い(7)	片岡地区説明会は、毎年度継続して開催することで保護者の理解促進に繋がっており、手段の妥当性は高い。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10)	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7)	各学校で統合期限までに必要な業務が異なるため、都度協議を行いながら、漏れのないよう効率的に作業を進めることができた。	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10)	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7)	川崎小学校及び泉中学校の閉校や、泉小コミュニティ・スクールについて、限られた費用の中で事業を円滑に行うことができた。	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10)	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7)	川崎小学校及び泉中学校の閉校に係る事業・事務手続きは、計画通り順調に完了し、児童生徒が円滑に統合先へ就学できた。	
評価結果	31	A(31点以上) B(30～22点) C(21～13点) D(12点以下)		ランク	A
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> ：拡大 <input type="checkbox"/> ：現状維持 <input type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止				

### ●委員評価

評価項目	点数	基準			
手段の適正化	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10)	<input type="checkbox"/> やや高い(7)	<input type="checkbox"/> やや低い(4)	<input type="checkbox"/> 低い(1)
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10)	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7)	<input type="checkbox"/> やや低い(4)	<input type="checkbox"/> 低い(1)
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10)	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7)	<input type="checkbox"/> やや低い(4)	<input type="checkbox"/> 低い(1)
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10)	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7)	<input type="checkbox"/> やや低い(4)	<input type="checkbox"/> 低い(1)
評価結果	31	A(31点以上) B(30～22点) C(21～13点) D(12点以下)		ランク	A
委員の意見	計画に基づき地元の協力を得ることにより順調に統廃合の業務が進んでいる。片岡地区の小中一貫教育については慎重に検討を進めてほしい。また、泉小コミュニティ・スクールについては、各組織団体と連携を強化し子ども達に「泉小でよかった」と言ってもらえるような学校づくりに取り組んでもらいたい。				

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。

# Ⅳ 施策評価シート

施策番号	1-5-①	施策名	地域学校協働活動の推進	主管課	生涯学習課
事業費 (千円) (決算額)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年度比	
	6,294	5,016	4,074	△ 942	
制度区分	■：補助(国・県)		■：市単独	□：その他	
事業の目的	矢板市地域学校協働本部を置き、統括コーディネーターを活用して地域住民が学校と連携・協働する仕組みを促進し、地域住民の生涯学習・自己実現に資するとともに、活動を通じて地域のつながり・絆を強化し、地域の活性化を図る。				
施策の対象者	市立小中学校児童・生徒及び教員、地域住民、関係機関・団体等				
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室の実施。</li> <li>・矢板市地域学校協働本部の設置及び会議の開催。</li> <li>・統括コーディネーターの配置。</li> <li>・生涯学習ボランティアの人材バンクの整備</li> <li>・学校支援ボランティア講座の開催。</li> <li>・栃木県「頑張る学校・地域！応援プロジェクト」の実施。</li> </ul>				
〔施策内容 実施状況 実施値等〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室を乙畑小・泉小で実施。</li> <li>・本部会議の開催。第1回：6/14(火)、第2回：1/27(金)</li> <li>・研修会の開催。8/31(水)講師：鈴木廣志氏 矢板小体育館 参加者57名(教員34人、地域・行政職員23人)</li> <li>・統括コーディネーター1名を配置。</li> <li>・生涯学習ボランティア わYいバンク 登録者数243人 ※前年比△25人 2年毎に更新。 学校支援ボランティア要請回数 R4：134回(R3：170回) ※R3年度 豊田小開校</li> <li>・学校支援ボランティア講座 受講生：11人</li> </ul>				
課題及び その対応策	地域住民と学校の関係が「支援」から「協働」へ移行することにより、学校だけでなく地域全体が活性化するという目的の共有が課題であり、今後も地域学校協働本部会議やボランティア講座等を通じて目的の共有化を図りながら、引き続き地域と連携しながら取組んでいく。				

## ●自己評価

評価項目	点数	基準	コメント	
手段の妥当性	7	□高い(10) ■やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)	CSマイスターの鈴木氏を講師とした研修会を開催した。さらに本部会議において地域の団体や関係団体と小中学校の地域連携教員等が一堂に会し、協働について確認できた。	
手法の効率性	7	□高い(10) ■やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)	県事業の「頑張る学校・地域！応援プロジェクト」を活用しCSマイスターによる研修会の開催や、校長会での説明により、地域や学校の理解が深まった。	
費用対効果	10	■高い(10) □やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)	県事業の「頑張る学校・地域！応援プロジェクト」の活用により、矢板市の協働活動本部体制が大きく前進した。	
目標達成度	10	■高い(10) □やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)	矢板市の学校図書ボランティアに保護者以外の地域の方が参加し、地域住民の生きがいづくりや住民同士の交流が図られ、学校だけでなく、地域活性化の一助となった。	
評価結果	34	A(31点以上) B(30~22点) C(21~13点) D(12点以下)	ランク	A
今後の方向性	■：拡大 □：現状維持 □：一部修正 □：縮小 □：廃止			

## ●委員評価

評価項目	点数	基準		
手段の適正化	7	□高い(10) ■やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)		
手法の効率性	7	□高い(10) ■やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)		
費用対効果	10	■高い(10) □やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)		
目標達成度	7	□高い(10) ■やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)		
評価結果	31	A(31点以上) B(30~22点) C(21~13点) D(12点以下)	ランク	A
委員の意見	毎年着実に推進が図られており、学校図書ボランティアの分野で地域との協働活動が始動できた。地域の活性化につながるよう、今後とも地域の広がり・発展を期待する。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。

# Ⅳ 施策評価シート

施策番号	2-1-①	施策名	生涯学習情報の 収集・発信の強化	主管課	生涯学習課 (公民館含む)
事業費 (千円) (決算額)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年度比	
	651	286	349	63	
制度区分	<input type="checkbox"/> : 補助(国・県) <input checked="" type="checkbox"/> : 市単独 <input type="checkbox"/> : その他				
事業の目的	市民参加型の生涯学習によるまちづくりを推進するため、市民が主体的に学習する機会の充実を図るため、市民講座などの学習機会やボランティアなど地域貢献活動の活動機会などの情報を収集し発信する。				
施策の対象者	市民				
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習情報の収集</li> <li>生涯学習情報「まなび」の作成のための情報収集及び活用方法の周知。</li> <li>イベントにおける生涯学習情報の発信。</li> </ul>				
(施策内容 実施状況 実施値等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習情報を市HP、広報やいた、デジタルミュージアム、ツイッター等で発信した。</li> <li>社会教育委員会議、学校図書館等職員協議会、図書館協議会等を開催し、情報の収集に努めた。</li> <li>庁内各課の情報を収集し、2023年度版を作成した。</li> <li>生涯学習情報「まなび」をスマホ等で市民が検索できるように、デジタル戦略課と連携し「スマホの使い方」出前講座を開催した。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じたうえで、フェスタinYAITAや泉公民館芸能発表会、片岡公民館文化祭を開催した。</li> </ul>				
課題及び その対応策	スマホ等デジタル機器のスキルや環境に個人差があるため、「まなび」の情報を手に入れにくい人が一定数いることが課題である。 インターネットや情報通信技術を利用できる人と利用できない人の格差を解消するため、高齢者等を対象とした初歩的なスマホの使い方についての講座をデジタル戦略推進室と連携して今後も引き続き実施する。また、公民館や図書館等、多くの方が利用しやすい箇所に、閲覧用として紙媒体の「まなび」も設置する。				

## ●自己評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ント	
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	デジタル化した生涯学習情報「まなび」の使い方を広報やいたで全戸配布した。初心者向けのスマホ講座を開催したり、公民館等に紙媒体の「まなび」も設置した。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	「まなび」のデジタル化により生涯学習情報発信の手法は増えたため、効率性は高まった。また初心者向けのスマホ講座を婦人会やデジタル戦略課と連携して開催することにより受講生の集客の効率化が図れた。	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	「まなび」のデジタル化により、市民の生涯学習情報の収集が容易にできるようになった。	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	「まなび」をデジタル化したことにより情報発信の強化が図れた。また初心者向けのスマホ講座の開催により、より多くの市民がいつでもどこでも情報を検索できるようになった。	
評価結果	28	A(31点以上) B(30~22点) C(21~13点) D(12点以下)	ランク	B
今後の方向性	<input type="checkbox"/> : 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> : 現状維持 <input type="checkbox"/> : 一部修正 <input type="checkbox"/> : 縮小 <input type="checkbox"/> : 廃止			

## ●委員評価

評価項目	点数	基 準		
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
評価結果	28	A(31点以上) B(30~22点) C(21~13点) D(12点以下)	ランク	B
委員の意見	デジタル時代の流れの中、それに沿った情報発信に移行できている。多くの市民が必要な情報を得られるよう、情報機器の使い方教室を継続してほしい。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。

# Ⅳ 施策評価シート

施策番号	2-1-②	施策名	多様な学習機会の提供		主管課	生涯学習課 (公民館含む)
事業費 (千円) (決算額)	令和2年度	令和3年度		令和4年度		前年度比
	772	988		845		△ 143
制度区分	<input type="checkbox"/> : 補助(国・県)		<input checked="" type="checkbox"/> : 市単独		<input type="checkbox"/> : その他	
事業の目的	生涯にわたって自主的かつ積極的に学習が行われるよう必要な学習活動を支援し、生きがいづくりや社会課題、地域課題、生活課題などのテーマに沿った市民講座を開設する。					
施策の対象者	市民					
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>主催講座：市民の学習要求に柔軟に応える講座を開設する。また、主催講座から自主講座へと移行できるように支援する。</li> <li>高齢者講座：高齢者の生きがいづくりのための講座を開設する。</li> <li>家庭教育講座：子育てに関する知識を修得するための講座を開設する。</li> <li>新型コロナの感染拡大状況を注視しつつ、感染防止に努めながら事業を実施していく。</li> </ul>					
施策内容 実施状況 実施値等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主催講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>矢板公民館：5講座 22回</li> <li>片岡公民館：5講座 16回</li> <li>泉公民館：7講座 38回</li> <li>農村環境改善センター：4講座 27回</li> </ul> </li> <li>○高齢者講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>矢板公民館：6回 中止1回</li> <li>泉公民館：7回</li> <li>片岡公民館：6回 中止1回</li> </ul> </li> <li>○家庭教育講座(幼児～中学生) <ul style="list-style-type: none"> <li>矢板公民館：13回 中止2回</li> <li>泉公民館：10回</li> <li>片岡公民館：7回</li> </ul> </li> <li>○自主講座団体の状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>矢板公民館：16団体</li> <li>泉公民館：11団体</li> <li>片岡公民館：24団体</li> <li>農村環境改善センター：11団体</li> </ul> </li> </ul>					
課題及び その対応策	受講生の固定化や、受講生の高齢化が進んでいることもあり、若い世代や男性の参加が少ない状況となっている。新型コロナの影響により、講座への参加を控える市民がいる。今後は、親しみやすい講座の名称や内容の検討を行い、幅広い世代が受講できるよう進めていく。					

## ●自己評価

評価項目	点数	基準		コメント		
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10)	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7)	<input type="checkbox"/> やや低い(4)	<input type="checkbox"/> 低い(1)	幼児から高齢者まで、それぞれの年齢層に合った講座が実施されており、また継続的な学習の機会を提供できている。また、講座実施時のアンケートにより、受講者のニーズに応える講座の開設に努めている。
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10)	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7)	<input type="checkbox"/> やや低い(4)	<input type="checkbox"/> 低い(1)	受講生が固定化、高齢化しているが、受講生同士の繋がりが強くなっている。また高齢者の出席率が高いため、認知症予防等の健康維持に繋がっている。
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10)	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7)	<input type="checkbox"/> やや低い(4)	<input type="checkbox"/> 低い(1)	講師料について、講師を市内在住で公民館での実績のある方を優先に引き受けてもらっている。また、市と各種協定を結んでいる企業の講師を採用することで費用が低く抑えられている。
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10)	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7)	<input type="checkbox"/> やや低い(4)	<input type="checkbox"/> 低い(1)	新型コロナにより、中止や縮小となった講座があったが、一部開催時期を延期するなど対応し、ほぼ計画通り開催できた。
評価結果	28	A(31点以上) B(30~22点) C(21~13点) D(12点以下)		ランク	B	
今後の方向性	<input type="checkbox"/> : 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> : 現状維持 <input type="checkbox"/> : 一部修正 <input type="checkbox"/> : 縮小 <input type="checkbox"/> : 廃止					

## ●委員評価

評価項目	点数	基準			
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10)	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7)	<input type="checkbox"/> やや低い(4)	<input type="checkbox"/> 低い(1)
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10)	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7)	<input type="checkbox"/> やや低い(4)	<input type="checkbox"/> 低い(1)
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10)	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7)	<input type="checkbox"/> やや低い(4)	<input type="checkbox"/> 低い(1)
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10)	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7)	<input type="checkbox"/> やや低い(4)	<input type="checkbox"/> 低い(1)
評価結果	28	A(31点以上) B(30~22点) C(21~13点) D(12点以下)		ランク	B
委員の意見	講座の開催にあたっては、コロナ感染対策をはじめ様々な課題があるが、1つずつ解決を図りながら市民力の向上を目指してほしい。				

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。

# Ⅳ 施策評価シート

施策番号	2-1-③	施策名	男女共同参画の推進	主管課	生涯学習課
事業費 (千円) (決算額)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年度比	
	249	77	472	395	
制度区分	<input type="checkbox"/> : 補助(国・県) <input checked="" type="checkbox"/> : 市単独 <input type="checkbox"/> : その他				
事業の目的	男女共同参画社会の実現に向け、矢板市男女共同参画計画あいプラン(4期計画)を推進する。また令和5年度から令和14年度を計画年度とする5期計画を策定する。				
施策の対象者	市民				
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・矢板市男女共同参画計画あいプラン(4期計画)の推進と評価、及び(5期計画)の策定。</li> <li>・女性団体等への指導・支援。</li> <li>・男女共同参画に関する学習機会の充実。</li> <li>・G7男女共同参画・女性活躍推進担当大臣会合開催記念事業の企画・運営。</li> </ul>				
〔施策内容 実施状況 実施値等〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートによる矢板市男女共同参画計画あいプラン(4期計画)の検証(市民2,500通、事業所300通)</li> <li>・矢板市男女共同参画計画あいプラン(5期計画)の策定。</li> <li>・女性団体連絡協議会や婦人会、グループあいへの支援、情報提供等の実施。</li> <li>・研修会「男女共同参画を考えるとちぎ県民のつどい『スポーツから考えるジェンダー平等～女性リーダーの役割～』」に参加。(参加者数:3人)</li> <li>・グループあい主催「男女共同参画アナウンス講座」 講師:山科湖氏 グループあい3人、矢板中放送委員会生徒27人</li> <li>・G7男女共同参画・女性活躍推進担当大臣会合開催記念 矢板市女性議会の開催(R5.3.18(土))。</li> </ul>				
課題及び その対応策	女団連や婦人会、グループあい等、会員の高齢化及び減少による活動の縮小化が懸念されており、新たな人材発掘及び育成が課題である。そこで、女性議会に議員として参加した16名は高校生から60代と幅広く、今後は女性議会メンバー等を中心に、人材の発掘と育成を実施していく。				

### ●自己評価

評価項目	点数	基準	コメント	
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	あいプランのアンケート結果により、4期計画の評価を踏まえた上で5期計画を策定した。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	女性議会に参加した16名だけでなく、傍聴者全員の市政への関心が高まり、女性活躍推進の機運が高まった。また、後日動画配信し、より多くの方に周知できた。	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	市議会の議場や設備等を活用することにより、経費の抑制だけでなく、本番さながらの模擬議会となった。また矢板市公式のYoutubeチャンネルで動画配信した。	
目標達成度	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいプランの5期計画の策定にあたり、社会情勢の変化に対応し、SDGsとの関連や防災分野における具体的な施策等新たに追加することができた。</li> <li>・行政との関わりが少なかった若い世代が女性議会に参加したことにより、新たな人材を発掘することができた。</li> </ul>	
評価結果	31	A (31点以上)    B (30~22点) C (21~13点)    D (12点以下)	ランク	A
今後の方向性	<input type="checkbox"/> : 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> : 現状維持 <input type="checkbox"/> : 一部修正 <input type="checkbox"/> : 縮小 <input type="checkbox"/> : 廃止			

### ●委員評価

評価項目	点数	基準	コメント	
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
目標達成度	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
評価結果	31	A (31点以上) B (30~22点) C (21~13点) D (12点以下)	ランク	A
委員の意見	記念事業としての矢板市女性議会の開催は有意義な企画であった。躍進する女性の発掘や裾野を広げるためには継続しての働きかけが必要である。また、女性団体の今後のあり方についても検討を要する。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。

## Ⅳ 施策評価シート

施策番号	2-1-④	施策名	青少年の健全育成・ 参画・活躍の機会充実	主管課	生涯学習課 (公民館含む)
事業費 (千円) (決算額)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年度比	
	1,461	1,432	1,277	△ 155	
制度区分	<input type="checkbox"/> ：補助(国・県)		<input checked="" type="checkbox"/> ：市単独	<input type="checkbox"/> ：その他	
事業の目的	青少年の健全育成、生きる力、ふるさと意識を育むため、自然体験や生活体験、交流活動の場を提供し、子どもの地域活動への参画力を推進する。また、地域社会の一員として自覚を高め、積極的な役割を果たすことができるよう、青年リーダー研修等により社会参画活動を促進する。				
施策の対象者	市内青少年				
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子学び合い事業(ネット時代の歩き方講習会)の開催。</li> <li>・矢板市民の約束「ケータイ・スマホのモラル・マナー」の広報・周知。</li> <li>・少年指導員による街頭指導およびあいさつ運動の実施。</li> <li>・ふれあいカードを活用し、地域活動・ボランティア活動への参加を促す。</li> <li>・子ども会連合会、ジュニアリーダースクラブの活動支援。</li> <li>・「二十歳のつどい」の開催。</li> <li>・市長と二十歳との意見交換会(クロストーク市長×二十歳)の企画及び開催。</li> </ul>				
施策内容 実施状況 実施値等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子学び合い事業(ネット時代の歩き方講習会の開催) 小学校7校、中学校1校 計8校。児童・生徒503人、保護者209人 計712人。</li> <li>・矢板市民の約束を市HP及び生涯学習情報「まなび」で周知した。</li> <li>・街頭指導 45回 延べ従事者162人</li> <li>・あいさつ運動 7月・11月 市立小中学校10校で実施。</li> <li>・ふれあいカードを市立小中学校の児童・生徒に配付し、自治公民館長や子ども会育成会等の役員に対し、ふれあいカードの活用を依頼した。</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3部に分けて「二十歳のつどい」を開催した。</li> <li>・「クロストーク市長×二十歳」二十歳：6人、司会：FMとちぎ 高加茂沙緒里氏 R4.11.12開催</li> </ul>				
課題及び その対応策	<p>子ども会や育成会などの団体活動を通して、地域とかかわりを持たない大人や子どもが増えており、自然や多世代との交流体験や活動が少なくなっていることが課題である。</p> <p>R5年度には笠間市との交流会を再開し、子ども会育成会やジュニアリーダー等青少年団体の育成と自主的な活動の活性化を図り、指導・助言・支援を行っていく。</p>				

### ●自己評価

評価項目	点数	基準	コメント	
手段の妥当性	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	社会教育指導員3人が「ネット時代の歩き方講習会」の講師となり、実施することができた。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	クロストークを秘書広報課主催「矢板時間配信事業」と連携し、プロのアナウンサーが司会進行することにより、二十歳のふるさと矢板への思いを引き出すことができた。また、二十歳のつどいを1つの会場で開催したため、3か所に分かれて開催したR3年度より、二十歳同士の交流が図れた。	
費用対効果	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	親子学び合い事業を実施した8校のうち4校は栃木県青少年育成市民会議の主催とし、社会教育指導員が講師として実施し、児童生徒のネット利用のモラル向上が図れた。また、クロストークをラジオと広報やいたの2つの媒体で市内外に広く周知することができた。	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	親子学び合い事業の開催を希望するすべての市立小中学校において、開催することができた。クロストークや二十歳のつどいの開催を通して、青年のふるさと意識の向上が図れた。	
評価結果	34	A (31点以上) B (30~22点) C (21~13点) D (12点以下)	ランク	A
今後の方向性	<input type="checkbox"/> ：拡大 <input checked="" type="checkbox"/> ：現状維持 <input type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止			

### ●委員評価

評価項目	点数	基準	コメント	
手段の適正化	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
評価結果	31	A (31点以上) B (30~22点) C (21~13点) D (12点以下)	ランク	A
委員の意見	親子学び合い事業での社会教育指導員の活用は経費削減のためばかりではなく、指導員の知識習得にもなっている。また、今後も「元気な矢板市」につながるような若者や親子を対象とした新しい企画に取り組んでほしい。			

# Ⅳ 施策評価シート

施策番号	2-1-⑤	施策名	社会教育施設の運営・整備	主管課	生涯学習課 (公民館含む)
事業費 (千円) (決算額)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年度比	
	89,819	140,039	165,582	25,543	
制度区分	■：補助(国・県)		■：市単独	■：その他	
事業の目的	社会教育施設(生涯学習館・図書館・公民館・文化会館・農村環境改善センター・郷土資料館)の経年劣化や機能低下を復旧し、長寿命化を図るとともに、土地と建物を有効活用するため、計画的な大規模改修や除却等を行う必要がある。令和2年度に策定した「矢板市公共施設個別施設計画」に基づき、計画的に施設整備を行うことを目的とする。				
施策の対象者	市民及び施設利用者				
今年度の目標	○矢板市生涯学習館長寿命化改修工事の完了。 (屋根・外壁防水工事、体育室内装改修工事、北側階段改修工事、空調設備改修工事等) ○矢板市生涯学習館駐車場舗装修繕工事 ○市立図書館 ・市立図書館の指定管理者の選定(R5~R9年度)。				
施策内容 (実施状況) 実施値等	○矢板市生涯学習館長寿命化改修工事 工期：R4.2.8~8.30 (屋根・外壁防水工事、体育室内装改修工事、北側階段改修工事、空調設備改修工事、LED化改修工事等) ○矢板市生涯学習館駐車場舗装修繕工事 工期：R4.6.13~9.16 ○市立図書館 指定管理者の決定 ㈱図書館流通センター 指定期間：5年間(R5~R9年度)				
課題及びその対応策	老朽化した施設が多いため、優先順位をつけ計画的に改修を行うことが必要であるとともに、財源確保が課題となっている。				

### ●自己評価

評価項目	点数	基準	コメント	
手段の妥当性	7	□高い(10) ■やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)	市公共施設個別施設計画において、生涯学習館は長寿命化と位置付けられており、改修工事の妥当性は高い。図書館において指定管理者制度を継続することができた。	
手法の効率性	7	□高い(10) ■やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)	生涯学習館長寿命化工事では、空調設備工事と同時に館内照明のLED化改修工事を実施し、工程の効率化を図れた。	
費用対効果	7	□高い(10) ■やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)	・生涯学習館長寿命化改修工事にLED化改修工事を追加・完了したことにより、電気使用量が抑えられ、かつ明るくなったことにより職場環境の改善が図れた。 ・生涯学習館駐車場舗装工事にロータリーの撤去工事を追加したことにより駐車台数が増加し利用者の利便性が向上した。	
目標達成度	7	□高い(10) ■やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)	・生涯学習館長寿命化改修工事は、R3年度に雨漏りが生じ、急遽、市公共施設個別施設計画を前倒しし、R4.10月の国体開催に間に合わせるべくタイトな工期設定で着手した。さらに館内のLED化改修工事も追加で実施し、長寿命化及び職場環境の改善を図ることができた。 ・図書館の指定管理者をTRCに決定できた。	
評価結果	28	A(31点以上) B(30~22点) C(21~13点) D(12点以下)	ランク	B
今後の方向性	□：拡大 ■：現状維持 □：一部修正 □：縮小 □：廃止			

### ●委員評価

評価項目	点数	基準		
手段の適正化	7	□高い(10) ■やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)		
手法の効率性	7	□高い(10) ■やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)		
費用対効果	7	□高い(10) ■やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)		
目標達成度	7	□高い(10) ■やや高い(7) □やや低い(4) □低い(1)		
評価結果	28	A(31点以上) B(30~22点) C(21~13点) D(12点以下)	ランク	B
委員の意見	矢板市生涯学習館の改修工事の完了により、市民にとって快適な施設となった。一方、他施設の老朽化が進んでおり、引き続き計画的な整備をお願いしたい。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。



# Ⅳ 施策評価シート

施策番号	2-2-①	施策名	子育て環境づくりの推進		主管課	生涯学習課 (公民館含む)
事業費 (千円) (決算額)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年度比		
	234	287	358	71		
制度区分	<input type="checkbox"/> ：補助(国・県) <input checked="" type="checkbox"/> ：市単独 <input type="checkbox"/> ：その他					
事業の目的	家庭・学校・地域・関係機関との連携を図りながら、子育てしやすい環境づくりと家庭教育力の向上を図ることを目的とする。					
施策の対象者	未就学児～小・中学生及び保護者					
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て講座の開催。</li> <li>・家庭教育学級の開設。</li> <li>・家庭教育の手引き「子育てナビ」の作成・配付</li> <li>・親子プログラミング講座の開催。</li> </ul>					
施策内容 (実施状況 実施値等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て講座の開催 対象者：就学時健康診断を受ける子どもの保護者 実施回数：6回 参加延べ人数：223人</li> <li>・家庭教育の手引き「子育てナビ」の作成・配付 作成部数 300冊</li> <li>・家庭教育学級 矢板・泉・片岡公民館で実施。実施回数：22回 参加者延べ人数：360人</li> <li>・親子プログラミング講座の開催 対象者：実施状況：2回 参加延べ人数：30人</li> </ul>					
課題及び その対応策	家庭教育力の向上のため、公民館主催の家庭教育学級や子育て講座の充実が課題である。家庭教育学級は、企業や市民講師等の活用や参加者アンケートを反映した講座の検討等により講座内容の充実を図っていく。また、子育て講座のテキストである「子育てナビ」の改訂や、小学校の中・高学年対象のテキストの作成についても引き続き検討していく。さらに、市民に好評であった「親子プログラミング教室」等、親子で体験できる講座を今後は展開していき、家庭教育力向上の推進を図る。					

### ●自己評価

評価項目	点数	基準	コメント	
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	参加者のアンケートを反映し、親子一緒に体験活動を増やしたり、プログラミングなど初めての体験活動を実施したりし、家庭教育力の向上を図ることができた。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	就学時健診の待ち時間を子育て学習を実施することで、保護者全員が参加でき、待ち時間を有効活用できた。また家庭教育学級の開・閉講式をオンラインで行い、自宅からの参加も可能とし、かつICT活用の学びにも繋げることができた。	
費用対効果	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	公民館の家庭教育学級では、限られた予算内で多様な体験ができるよう県事業や企業の地域貢献事業、市民講師を活用したことにより、新たな講座を実施することができた。	
目標達成度	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	公民館主催の家庭教育学級、親子プログラミング教室ともに参加者の満足度が高い。特に、子供だけでなく親も一緒に体験し学ぶ講座については親の家庭教育力向上に大きな効果がある。	
評価結果	34	A (31点以上)    B (30~22点) C (21~13点)    D (12点以下)	ランク	A
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> ：拡大 <input type="checkbox"/> ：現状維持 <input type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止			

### ●委員評価

評価項目	点数	基準	コメント	
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
費用対効果	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
評価結果	31	A (31点以上) B (30~22点) C (21~13点) D (12点以下)	ランク	A
委員の意見	アンケートの活用による「親子プログラミング講座」はデジタル化社会に即した企画であった。今後は、時間や場所を問わず自由に講座に参加できる環境作りも必要になると思われる。また、「子育てナビ」については広く周知をするためにも矢板市のホームページに掲載することを希望する。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。

# Ⅳ 施 策 評 価 シ ー ト

施策番号	2-3-①	施策名	芸術文化の普及と向上		主管課	生涯学習課
事業費 (千円) (決算額)	令和2年度	令和3年度		令和4年度		前年度比
	1,555	1,585		1,820		235
制度区分	■：補助(国・県)		■：市単独		□：その他	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民文化の普及と向上のため、学習や発表機会の充実を図る。</li> <li>・文芸人口の拡大のため、歌人「塩谷朝業」にちなみ文芸の振興を図る。</li> <li>・関係団体の育成、文化活動の支援を行う。</li> </ul>					
施策の対象者	一般、団体					
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭の開催</li> <li>・ともなり文芸祭り(誌上大会)の開催※題材は「自由題」 【国体開催年：題材に「スポーツ」を追加】</li> <li>・ともなり文芸祭り応募方法の検討</li> <li>・芸術文化団体補助金の交付</li> </ul>					
施策内容 (実施状況 実施値等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭開催 11月1日～3日 作品展示：256点(前年度259点)／11月20日 芸能発表会：24組</li> <li>※コロナ禍での開催のため、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じて実施。(茶会は中止)</li> <li>・ともなり文芸祭り開催(応募総数 R4：5,421点 R3：5,263点) 【スポーツ：832点】</li> <li>短歌(1,533)、俳句(2,080)、川柳(1,287)、詩(521)各種目実施。※( )は応募作品数</li> <li>オンラインで応募できる専用フォームの開設。 ※オンライン応募件数4,132点</li> <li>・芸術文化団体補助金、交付金 補助金：矢板市文化協会 190千円</li> <li>交付金：矢板ウインドオーケストラ 50千円</li> <li>矢板東高等学校(9大会) 195千円</li> </ul>					
課題及び その対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭の作品展示及び芸能発表会は、委託している文化協会と協議し、令和6年4月オープン予定の文化スポーツ複合施設の活用、開催方法等を検討する必要がある。</li> <li>・ともなり文芸祭りは、過去3年間の応募数の減少を踏まえ、一般にもオンラインで応募ができるシステムの構築を行ったので、今後も広くその募集について、SNSを活用する等広く対応していく必要がある。</li> <li>・若い世代からの人材育成を図るために、文化芸術団体育成のための活動支援について検討する。</li> </ul>					

## ●自己評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ン ト
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	文化祭、ともなり文芸祭り両イベントは市民の文化・芸術活動の成果発表をする貴重な機会であり、芸術文化活動推進のためにも今後も開催は必要。
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	コロナ禍ではあったが、文化祭運営は文化協会に業務委託しており、開催規模、場所の選定等に配慮して開催した。ともなり文芸祭りは、オンライン応募が可能となり、事務の効率化が図られた。
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	文化祭業務については、運営ノウハウを持つ文化協会への業務委託により効率的に運営することができた。ともなり文芸祭りはオンライン応募により事務の効率化を図ることができた。
目標達成度	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	時期は異なるが十分なコロナ感染防止策を講じた上で、文化祭(芸能発表会)を実施することができた。ともなり文芸祭りは、国体開催に併せて題材を追加して応募したことにより、応募数が増加した。
評価結果	31	A(31点以上)    B(30～22点) C(21～13点)    D(12点以下)	ランク    A
今後の方向性	<input type="checkbox"/> ：拡大 <input type="checkbox"/> ：現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止		

## ●委員評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ン ト
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	
目標達成度	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	
評価結果	31	A(31点以上) B(30～22点) C(21～13点) D(12点以下)	ランク    A
委員の意見	関係者の工夫と努力により、文化祭において芸能発表会が実施できたこと。さらには、ともなり文芸祭りの応募作品が増加したことなど、コロナ禍前に戻りつつあるのは喜ばしい。		

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。

# Ⅳ 施策評価シート

施策番号	2-3-②	施策名	文化財の保護と活用	主管課	生涯学習課
事業費 (千円) (決算額)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年度比	
	17,010	9,866	20,010	10,144	
制度区分	■：補助(国・県)		■：市単独	■：その他	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民がオンラインにより文化情報に触れることのできる環境を構築する。</li> <li>・那須野が原開拓日本遺産の活用・普及啓発に取り組む。</li> <li>・郷土の偉人「矢板武」の功績を後世に伝え、郷土の関心を高める。</li> <li>・文化財の保護、活用事業の促進を図るとともに、文化財保護団体への補助等を行うことにより文化財の適切な保護と活用を図る。</li> </ul>				
施策の対象者	一般、団体				
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定等文化財のデジタル化を進め、矢板市デジタルミュージアムにアップする。</li> <li>・日本遺産活用推進協議会と連携し、構成文化財の活用を図る。</li> <li>・矢板武記念館「矢板武没後100年」イベント及びシダレザクラのライトアップの実施。</li> <li>・天然記念物(樹木)の消毒、ミヤコタナゴ生息池環境調査の実施。</li> </ul>				
〔施策内容〕 実施状況 実施値等	<p>○矢板市デジタルミュージアムの内容充実と活用 ※ページ別訪問件数184,524件(令和5年3月31日まで)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定等文化財(化石、仏像、絵図、日誌、古写真等)5,293点のデジタル化を実施</li> <li>・検索性を高めるため、サイトのリニューアルを実施</li> </ul> <p>○日本遺産構成文化財の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PRグッズの作成、配布を実施</li> <li>・ストーリーブック(絵本編)の作成、配布を実施</li> </ul> <p>○矢板武記念館の保護と活用 ※入館者数 2,316人(R3:814人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・矢板武没後100年記念事業(企画展3回、体験事業5回、公演3回、講演1回、イルミネーション1回)の実施</li> <li>・シダレザクラライトアップの実施 ※期間中の入館者数 449人(R3 1,134人)</li> <li>・文化情報PRキャラクター「たけりん」の作成及び活用(たけりんグッズ、国体とのコラボラック等の作成)</li> </ul> <p>○文化財の保護と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県指定文化財「山縣有朋記念館」における屋根等修理事業への事業費補助を実施</li> <li>・国指定文化財「木造千手観音及び両脇侍像」等における消防ポンプ修理事業への事業費補助を実施</li> <li>・ミヤコタナゴ生息調査を実施 ※ミヤコタナゴ生息数 638匹(R3 126匹)</li> <li>・御城印の制作及び販売を実施(川崎城跡・御前原城跡)</li> <li>・矢板市指定等文化財保存活用事業費補助金交付要綱の作成(R5.2.14施行)</li> </ul>				
課題及び その対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルミュージアムについては、文化財のデジタル化を進めるとともに、児童生徒が学習で活用できるようなコンテンツの充実を継続的に図る必要がある。</li> <li>・日本遺産構成文化財の活用と普及啓発を図る必要がある。</li> <li>・文化情報PRキャラクターとして制作した「たけりん」を、広く文化情報を発信していくためにSNSを含め積極的に活用していく必要がある。</li> <li>・令和5年度令和6年4月オープン郷土資料館の移転に伴い、搬出する収蔵物や資料等の再整理を行い、限られた期間での搬出入に向け計画的な準備が必要となる。</li> </ul>				

### ●自己評価

評価項目	点数	基準	コメント
手段の妥当性	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	デジタルミュージアムは、市民が自由に文化情報に触れることのできる環境であるため、その妥当性は高い。コロナ禍であったが、矢板武没後100年事業は、開催規模の縮小や入場制限を行いイベントを開催した。国体開催とコラボする等、文化情報PRキャラクターたけりんによる文化情報発信の強化を行った。
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	文化財のデジタル化では文化財取扱いのノウハウを持つ業者に委託することで、高精細な映像を掲載できた。文化財の保存・活用については関連団体の協力のもと、生息調査や保全パトロールを実施することができた。
費用対効果	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	デジタルミュージアム文化財等のデジタル化は、貴重な文化財をより身近なものとして視聴でき、展示や移動による破損を避け、よりよい状態での保管が可能となった。
目標達成度	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	デジタルミュージアムのコンテンツを増やすことができた。矢板武没後100年事業は、コロナ禍ではあったが無事、実施できた。御城印の制作・販売については、大きな反響があり、売れ行きは順調である。
評価結果	37	A(31点以上) B(30~22点) C(21~13点) D(12点以下)	ランク      A
今後の方向性	<input type="checkbox"/> ：拡大 <input checked="" type="checkbox"/> ：現状維持 <input type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止		

### ●委員評価

評価項目	点数	基準	コメント
手段の適正化	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	
目標達成度	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	
評価結果	34	A(31点以上) B(30~22点) C(21~13点) D(12点以下)	ランク      A
委員の意見	文化財の保護と活用に向けて、新たな事業の展開や各事業内容の充実を図るなど、目標達成に努力している。		

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。

## Ⅳ 施策評価シート

施策番号	3-1-①	施策名	生涯スポーツの推進、 スポーツ等活動振興	主管課	国体・スポーツ局
事業費 (千円) (決算額)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年度比	
	8,291	9,268	11,810	2,542	
制度区分	<input checked="" type="checkbox"/> : 補助(国・県) <input checked="" type="checkbox"/> : 市単独 <input type="checkbox"/> : その他				
事業の目的	市民一人ひとりがスポーツ・レクリエーションに親しむための場及び選択肢を確保することによってそれぞれの生涯スポーツ・レクリエーションの推進を図り、健康の増進、体力の向上、明るく豊かで生きがいのある生活を営むことができる環境を確保する。また、スポーツ・レクリエーションの関わり方として、単に「する」だけではなく「見る」「支える」ことでより多くの市民の参加を図っていく。				
施策の対象者	市民全体				
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ・レクリエーション活動を行う方への支援</li> <li>・スポーツ活動の「場」及び「選択肢」の提供</li> <li>・新たなスポーツ・レクリエーション活動のあり方検討</li> <li>・中学校部活動のクラブ活動移行推進</li> </ul>				
〔施策内容 実施状況〕 実施値等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会出場等の交付金、団体運営補助金等による財政支援 大会出場63件1,501千円、とちぎフットボールセンター利用36件185千円、クラブ活動14件829千円 スポーツ協会補助4,100千円、レクリエーション協会補助20千円</li> <li>・スポーツ推進委員等のスポーツ活動を支える人材支援 スポーツ推進委員15名、健康ひろば6回開催、出前講座5回派遣</li> <li>・スポーツ教室等の開催による場及び選択肢の提供      スポーツ教室20教室開催・延23,402人参加</li> <li>・中学生の部活動のあり方、地域移行化の実践研究、検討      矢板中学校6部活動で実施</li> </ul>				
課題及び その対応策	ウィズコロナ、アフターコロナの状況下において、スポーツ・レクリエーションの参加者数がコロナ前に戻りつつあるものの、参加者には偏りが見られる。すべての市民の方、特に女性、障がい者が気軽に生涯スポーツに参画できる環境整備を行う必要があることから、誰でも気軽にスポーツに関わることができるイベントを実施する。				

### ●自己評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ント	
手段の妥当性	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	スポーツ・レクリエーションの推進を図るため、適切にスポーツ活動を行う団体、個人に必要な支援を実施し、スポーツの場や選択肢を提供できている。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	スポーツ協会、レクリエーション協会といった関係団体、スポーツ推進委員といった個人の協力を得て効率的に事業を実施できている。	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	適切な費用で効果的に財政支援、場や選択肢の提供を実施するとともに、部活動の見直しなどの新たな課題にも取り組んでいる。	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	コロナの影響はあるものの、着実に生涯スポーツ・レクリエーションの推進が図れている。	
評価結果	31	A (31点以上)    B (30~22点) C (21~13点)    D (12点以下)	ランク	A
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> : 拡大 <input type="checkbox"/> : 現状維持 <input type="checkbox"/> : 一部修正 <input type="checkbox"/> : 縮小 <input type="checkbox"/> : 廃止			

### ●委員評価

評価項目	点数	基 準	コ メ ント	
手段の適正化	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
評価結果	31	A (31点以上) B (30~22点) C (21~13点) D (12点以下)	ランク	A
委員の意見	市民の心身の健康保持・増進のため、スポーツ・レクリエーションの普及は大切である。引き続き、関係団体や関係者との連携を強化してほしい。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。

# Ⅳ 施策評価シート

施策番号	3-1-②	施策名	スポーツ施設の機能拡充	主管課	国体・スポーツ局
事業費 (千円) (決算額)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年度比	
	389,183	129,881	425,701	295,820	
制度区分	<input checked="" type="checkbox"/> ：補助(国・県) <input checked="" type="checkbox"/> ：市単独 <input type="checkbox"/> ：その他				
事業の目的	単なる生涯スポーツの推進の場としてのみならず、市外からの来訪者を呼び込み地域活性化を推進する場として、屋内外のスポーツ施設の充実を図る。特に新設する文化スポーツ複合施設においては、健康増進、障がい者や女性のスポーツ参画による共生社会の実現、スポーツツーリズムの更なる推進による地方創生・まちづくり、デジタル技術の活用によるSociety5.0の実現等多様な事業を推進する。				
施策の対象者	市民全体、市外からの来訪者				
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化スポーツ複合施設新築工事(本体建設2か年継続事業、R4着工・R5竣工、R6開業予定)</li> <li>文化スポーツ複合施設外構工事</li> <li>文化スポーツ複合施設に導入する最先端のデジタル技術である未来技術企画設計、構築</li> </ul>				
施策内容 (実施状況) (実施値等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化スポーツ複合施設新築工事 220,000千円(2か年総額1,401,576千円)</li> <li>文化スポーツ複合施設工事監理 2,500千円(2か年総額 21,450千円)</li> <li>※R5年度へ通次繰越423,332千円</li> <li>文化スポーツ複合施設外構工事 113,245千円</li> <li>未来技術調達、連携基盤システム・インターフェースシステム構築 13,450千円</li> </ul>				
課題及びその対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化スポーツ複合施設を活用した文化芸術・スポーツ活動、健康づくり、地域経済の活性化を行う必要がある。</li> <li>老朽化が進むが誘客のため重要な施設(武道館、テニスコート)の改修を要する。</li> <li>市体育館の解体撤去を文化スポーツ複合施設建設から5年以内に実施しなければならない。</li> </ul> 以上の課題解決には多額の費用を要するため、中期的な財政計画に基づいて適切に財源(国県補助、起債、スポーツ振興くじ助成)の確保に努め、事業を実施していく。				

## ●自己評価

評価項目	点数	基準	コメント	
手段の妥当性	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	単なるスポーツ、文化活動だけではなく、地域経済の活性化、健康増進、共生社会の推進、デジタル社会の実現等多岐にわたる行政課題の解決に資する施設整備の妥当性は高い。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	一つの施設で全庁横断的に多種多様な行政課題の解決を目指し、さらにはデジタル化社会の先取りを進めていることから、効率がよいといえる。	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	施設整備中にもかかわらず環境に関する評価である「ZEB Ready」認証であったり、まちづくりの先駆的取り組みの証であるスポーツ庁長官表彰受賞などの評価を受けている。	
目標達成度	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	R4目標である文化スポーツ複合施設整備について、進捗は順調である。	
評価結果	34	A(31点以上)    B(30~22点) C(21~13点)    D(12点以下)	ランク	A
今後の方向性	<input type="checkbox"/> ：拡大 <input checked="" type="checkbox"/> ：現状維持 <input type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止			

## ●委員評価

評価項目	点数	基準		
手段の適正化	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
目標達成度	10	<input checked="" type="checkbox"/> 高い(10) <input type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
評価結果	34	A(31点以上) B(30~22点) C(21~13点) D(12点以下)	ランク	A
委員の意見	市としての一大プロジェクト「文化スポーツ複合施設」の新築並びに関連工事に加え、既存のスポーツ施設の維持管理及び改修など、課題山積ではあるが着実な執行を期待する。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。

# Ⅳ 施策評価シート

施策番号	3-1-③	施策名	スポーツツーリズム推進事業との連携	主管課	国体・スポーツ局
事業費 (千円) (決算額)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年度比	
	—	—	—	—	
制度区分	<input type="checkbox"/> ：補助(国・県) <input type="checkbox"/> ：市単独 <input type="checkbox"/> ：その他				
事業の目的	国の第3期スポーツ基本計画に即してスポーツによる地方創生、まちづくりを推進するため、関係部局と連携し、スポーツを観光資源と位置づけスポーツ交流人口の拡大を図り、地域経済の活性化を図る。				
施策の対象者	市外からの来訪者				
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツツーリズム推進事業と連携し、新型コロナウイルス感染症の影響により急減したスポーツ交流人口を回復させる。</li> <li>・いちご一会とちぎ国体の開催を契機とした全国からの誘客を図る。</li> <li>・プラスアルファのコンテンツを提供し、宿泊を伴う来訪者の比率を高める取り組みを支援する。</li> </ul>				
施策内容 (実施状況 実施値等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ交流人口の推移 R2 101,641人 R3 115,319人 R4 128,485人</li> <li>・いちご一会とちぎ国体 延べ来場者数5,879人 延べ宿泊者数1,378人 推計経済波及効果7,858万円</li> <li>・市内宿泊者数 R2 71,319人 R3 76,958人 R4 98,150人</li> </ul>				
課題及び その対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ大会の参加者の多くが県内、首都圏からであり日帰りでの来訪が可能のため、滞在時間が短く宿泊に繋がっていないことから、市内消費につなげることが課題である。</li> <li>・単なるスポーツ施設の提供、スポーツ大会の誘致にとどまらず、プラスアルファのコンテンツを提供し、滞在時間を延ばして市内消費を高めていく。</li> </ul>				

### ●自己評価

評価項目	点数	基準	コメント	
手段の妥当性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	国が目指す「スポーツを通じた活力のある社会の実現」と方向性が合致しており、スポーツ部局と観光部局が連携し取り組む妥当性は高い。	
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	国体開催を単なるスポーツ大会の開催に終わらせずに、人を呼び込む観光資源として地域経済の活性化につなげることができた。	
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	スポーツツーリズムは民間活力(矢板スポーツコミッション)により推進していくため行政の負担は軽い。国体開催は行政負担も大きかったが、スポーツ交流人口の増加や地域経済の活性化に効果があった。	
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)	コロナの影響はあったものの、国体開催により多くの来場者を呼び込むことができ相当の経済効果を得ることができた。	
評価結果	28	A (31点以上)    B (30~22点) C (21~13点)    D (12点以下)	ランク	B
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> ：拡大 <input type="checkbox"/> ：現状維持 <input type="checkbox"/> ：一部修正 <input type="checkbox"/> ：縮小 <input type="checkbox"/> ：廃止			

### ●委員評価

評価項目	点数	基準	コメント	
手段の適正化	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
手法の効率性	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
費用対効果	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
目標達成度	7	<input type="checkbox"/> 高い(10) <input checked="" type="checkbox"/> やや高い(7) <input type="checkbox"/> やや低い(4) <input type="checkbox"/> 低い(1)		
評価結果	28	A (31点以上) B (30~22点) C (21~13点) D (12点以下)	ランク	B
委員の意見	地域経済の活性化という重要な目的達成のため、引き続き関係部局が一体となって取り組んでほしい。			

※評価ランクは、A(十分な成果である)、B(概ね良好)、C(改善等を検討)、D(改善が必要)とする。

# 矢板市教育行政事務点検評価委員会設置要綱

## （設置及び目的）

第1条 矢板市教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項に規定する教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価（以下「事務の点検評価」という。）を行うにあたり、同条第2項の規定に基づき、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するため、矢板市教育行政事務点検評価委員会（以下「点検評価委員会」という。）を設置する。

## （所掌事務）

第2条 点検評価委員会は、次に掲げる事項について、事務の点検評価を行い、その結果を教育委員会に報告する。

- （1） 教育委員会の基本方針に基づき行う主要施策に関すること。
- （2） その他教育委員会が必要と認める事項に関すること。

## （組織）

第3条 点検評価委員会は、委員3人以内で組織する。

2 委員は、教育に関し学識経験を有する者のうちから、教育委員会が委嘱する。

## （任期）

第4条 委員の任期は2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任することができる。

## （委員長）

第5条 点検評価委員会に委員長を置く。

2 委員長は、委員の互選により定める。

3 委員長は、会務を総括し点検評価委員会を代表する。

4 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指定した委員がその職務を代理する。

## （会議）

第6条 点検評価委員会は、委員長が招集し議長となる。

2 点検評価委員会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことはできない。

3 検討委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴きまたは、必要な資料等の提出を求めることができる。

(事務局)

第7条 点検評価委員会の庶務は、教育委員会事務局教育総務課において処理する。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、点検評価委員会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。



令和5年度 矢板市教育委員会の点検・評価報告書

発行／令和5年10月

矢板市教育委員会事務局 教育部教育総務課  
電話 0287-43-6217 FAX 0287-43-4432  
E-mail:kyouiku@city.yaita.tochigi.jp